

甲斐市議会決算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 令和元年9月19日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（18名）

委員長	藤原正夫君	副委員長	横山洋介君
	伊藤毅君		加藤敬徳君
	谷口和男君		秋山照雄君
	清水和弘君		金丸幸司君
	滝川美幸君		五味武彦君
	小澤重則君		松井豊君
	清水正二君		斉藤芳夫君
	有泉庸一郎君		山本英俊君
	内藤久歳君		保坂芳子君

欠席委員（2名）

金丸寛君	赤澤厚君
------	------

傍聴議員（1名）

議長	長谷部集君
----	-------

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	本田泰司	書記	輿石文明
書記	長田大地	書記	中込美智子

審査内容

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選

開会 午前11時24分

○書記（輿石文明君） それでは、ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、先ほど議長より招集がありました。案件につきましては正副委員長の互選となります。

臨時の委員長につきましては、委員会条例により、出席委員のうち年長であります五味委員にお願いをいたしておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、五味委員、よろしくお願ひいたします。

○仮委員長（五味武彦君） それでは、始めさせていただきます。

本日の委員会は、決算審査特別委員会設置後の初めての委員会でありますので、委員会条例第10条第2項の規定により、委員長が決まるまでの間、年長の私が委員長の職務を行います。よろしくご協力お願ひいたします。

ただいまの出席委員は18名です。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会いたします。

なお、金丸寛委員、赤澤厚委員については欠席でありますので、報告をさせていただきます。

本日の会議を開きます。

○仮委員長（五味武彦君） これより委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

委員長の互選については、会議規則第126条第5項の規定により指名推選によりたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

したがって、委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

それでは、いかがいたしましょうか。どなたかご発言ございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 委員長につきましては、藤原委員を推薦したいと思います。

○仮委員長（五味武彦君） ただいま清水委員から、藤原委員の推薦がございました。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

それでは、委員長を指名させていただきます。

決算審査特別委員会委員長には、藤原正夫委員を指名いたします。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、決算審査特別委員会委員長には藤原正夫委員が当選されました。

ただいま当選されました藤原委員長より就任のご挨拶がございました。

ここで委員長と交代をさせていただきます。

以上でございます。

○委員長（藤原正夫君） ただいま、委員長の推薦をいただきました委員長の藤原でございます。議員各位より指名推選いただきまして、本当にありがとうございます。

微力ではありますが、円滑な委員会運営に努めてまいり所存であります。委員各位のご協力をよろしくお願いいたしまして、私の委員長の挨拶といたします。よろしくお願ひします。

（拍手）

引き続き、副委員長の互選を行います。

副委員長の互選も委員長と同様、会議規則第126条第5項の規定により指名推選によりたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ご異議なしと認めます。

したがいまして、副委員長の互選は、指名推選によることに決定いたしました。

ここでお諮りをいたします。

副委員長の指名方法は委員長において指名することにしたいと思ひます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ご異議なしと認めます。

よって、副委員長の指名方法は、委員長において指名することに決定をいたしました。

それでは、副委員長を指名いたします。

副委員長には横山洋介委員を指名したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ご異議なしと認めます。

よって、副委員長には横山洋介委員が当選されました。

ただいま当選されました横山洋介委員が挨拶したい旨の届けがあります。挨拶をよろしく
お願いします。自席のままでもいいです。

横山副委員長。

○副委員長（横山洋介君） このたびは、決算審査特別委員会の副委員長に推薦、またご承認
いただきまして、まことにありがとうございます。

大先輩のもと、胸をかりながら一生懸命勉強してまいりますので、皆様のご協力もよろしく
お願いします。ありがとうございます。（拍手）

○委員長（藤原正夫君） 次に、審査日程について事務局の説明を求めます。

興石係長。

○書記（興石文明君） それでは、お手元の審査日程案、横判の1枚物、よろしくお願いいた
します。

決算審査につきましては、あす20日から27日までの5日間で行います。いずれも午前9
時30分開会でございます。あす20日は一般会計の歳出で、企画政策部長の概要説明から敷
島・双葉支所までとなります。週が明けまして24日が秘書政策課から健康増進課まで、翌
25日が環境課から教育総務課まで、翌26日が学校教育課から歳入となります。翌27日が
特別会計等の審査となります。なお、30日につきましては、委員会の予備日ございま
す。

あすから、お配りしてあります、こちら審査日程（予定）によりまして審査を行いますの
で、よろしくお願いいいたします。

説明は以上でございます。

○委員長（藤原正夫君） 説明が終わりました。

それでは、委員より質疑等がありましたら、お願いをいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（藤原正夫君） なければ、これで質疑を終了します。

それでは、この日程により行うことに決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） それでは、そのように決定いたしました。

以上で審査日程についてを終わります。

次に、本委員会に付託されました事項の令和2年度当初予算への要望に関することについては、昨年度同様に引き続きまして第6回目となりますが、今回も、各常任委員会及び特別委員会において所管する事業に対する要望を取りまとめていただき、本委員長名で市当局に提出をしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） 異議なしと認めます。

それでは、そのように進めてまいります。

それでは、お手元にお配りいたしました別紙の要望書により、所管する常任委員会及び特別委員会の事業で、最重点の事業を1人、1委員会につき1事業を提案することにしたと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） 異議なしと認めます。

それでは、そのように決定をします。

要望書の提出期限であります。10月4日金曜日午前中までに事務局へご提出をお願いいたします。

また、提出後、委員会を開催し、内容を精査していただき、最終的には決算審査特別委員会で取りまとめまして、市長へ提出をしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） それでは、そのようにしたいと思います。

それでは、以上で、令和2年度当初予算への要望に関することについて終わります。

あしたから長丁場でございますけれども、私、藤原と横山、両委員が正副委員長を務めます。よろしく願いいたします。

以上で本日の決算審査特別委員会を閉会とさせていただきます。

ご苦労さまでした。

閉会 午前11時34分